

月 信

Gessin
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

5月号 No.12
MAY
2024



ロータリーの偉人⑫

写真提供 / 学校法人 福岡音楽学院

Naoyuki Suenaga
1982-84年度 国際ロータリー理事 末永 直行氏

福岡を代表するロータリアンであり、「100人のロータリアン」（ロータリー日本創立100周年記念事業）にも選ばれた偉大な先輩です。1970-71年度国際ロータリー第370地区（現第2700地区・第2740地区）ガバナーをお務めになった後、1982-84年度にRI理事に就任され、当時の向笠廣次RI会長（1982-83年度、日本人2人目のRI会長）をお支えになりました。1992年から2001年までの10年間、財団法人ロータリー米山記念奨学会の理事長を務められ、米山学友会の設立にも力を尽くされました。博多駅弁の老舗・寿軒の社長を生業に、福岡における音楽文化、日仏米の交流発展においても絶大なる貢献をされました。1952年に西日本音楽協会を設立。1954年に福岡音楽愛好会を設立。その功績により1958年に米国国務省に招かれ渡米。1978年福岡日仏協会を設立。1987年に私財を投じて、九響の専用練習場でもある「末永文化センター」（福岡市）を建設。初代在福岡仏共和国名誉領事、九州交響楽団常務理事、福岡大学理事長、福岡音楽学院理事長等、多くの要職を歴任されました。

〈2023-2024年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう

国際ロータリー第2700地区ガバナー
吉田 知弘 (福岡東RC)



2023-2024年度国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう



青少年奉仕月間によせて

国際ロータリー 第2700地区

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

はじめに

ロータリー特別月間の5月のタイトルは「青少年奉仕月間」です。青少年奉仕に関しては別に青少年奉仕委員会から月間の記事が寄稿されますので詳細な説明はそちらに譲り、ここでは青少年奉仕を大きく俯瞰して基本知識をおさらいし、併せて青少年奉仕に関わる活動の特徴とその周辺のビビッドな動向についてコメントしたいと思います。いつものことですが随所にリソースを引用しますので、是非リンクをクリックしてリソースにジャンプしてみてください。

青少年奉仕のポジション

さて、毎月の特別月間では「ロータリーの7つの重点分野」に関わるテーマがタイトルに並ぶのが通常ですが、「青少年奉仕」はこの重点分野のどこにもタイトルがありません。では青少年奉仕とはロータリーの活動においてどのようなポジションを占めるのでしょうか。

初心者であれば言葉に詰まる方もあるでしょう。そのときは是非ご自身のクラブの定款（標準定款第6条）をご確認ください。この条文では「五大奉仕部門」が定義され、「ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である。」との柱書に続けて5項目の奉仕（クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕）についての定義が記述されています。青少年奉仕はこのうちの「奉仕の第五部門」であり、冒頭の問いに対しては、5大奉仕のひとつであると答えることになります。

ただし、青少年奉仕が正式に奉仕部門のひとつとして整理されたのは比較的最近のことです。2010年4月の規定審議会で「新世代奉仕」が奉仕部門のひとつに加えられ、その後2013年4月の規定審議会で「青少年奉仕」と改称されました。もちろん、青少年奉仕活動の歴史はロータリーの歴史とともに古く、その成果を土台として奉仕部門としての整理と宣言がされたことも忘れてはなりません。総論的な基礎知識として是非この程度のことは知っておいていただきたいと思います。

青少年奉仕部門の特徴 RI常設プログラムの集合体

ロータリーの青少年奉仕活動を俯瞰するときに忘れてはならない顕著な特徴は、これが独立した複数のRI常設プログラムの集合体であるということです。その代表的なプログラムとして①インターアクト（Interact）②国際青少年交換プログラム（Rotary Youth Exchange）③ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA：Rotary Youth Leadership Awards）の3つを上げることができます。それぞれが独立して実施されるプログラムであるため、当地区にもそれぞれのプログラムに対応する委員会が個別に設けられています。

とはいえ、青少年奉仕部門としての大きなまとまりがあり全てに共通関連する事項も多いこと、プログラムの効果の最大化を促す上では総合的視点から相互に関連付けて実施するのが望ましいことなどから、青少年奉仕委員会が別に設けられ部門全体の連携

を支援しています。こうした特徴は当地区の組織図 (<https://2700rid.com/organization/>) を参照していただくとよく理解できます。

ここでは青少年奉仕全般のイントロダクションとなるロータリーのウェブサイトをご紹介します。ここからいろいろなサイトにジャンプできるので、是非インデックスの代わりにご参照いただきたいと思います。 (<https://www.rotary.org/ja/our-programs/youth-programs>)

青少年奉仕プログラムの外縁 —米山記念奨学事業は？

このようにしてみると米山記念奨学事業はどうか、ローターアクトは青少年奉仕プログラムのはずだ、等々の疑問を感じる方がいることでしょう。ここではまず米山記念奨学事業について考えてみましょう。

米山記念奨学事業は日本で学ぶ外国人留学生を対象とするプログラムであり、20歳前後の大学生(学部生)も対象に含むことから広い意味では青少年奉仕の一環とみて差し支えありません。ただし、通常はこのような括り方をせず米山記念奨学部門として独立に扱う傾向が強いように思います。当地区における委員会構成も同じであり、青少年奉仕とは別の部門として構成されています。これは米山奨学事業がRI常設プログラムではなく日本独自の多地区合同奉仕プロジェクトとして構成されていること、大学院以上(修士課程・博士課程)の学生に本格的な支援対象があって年齢層が高く、高度な専門職業人の育成に関わる側面もあるなど、通常の青少年奉仕の枠組みに収まらない性格があることなどがその主な理由でしょう。

ただし、青少年奉仕はもともとプログラムが先行して独自に進化してきた分野であり、後から理念を宣言して奉仕部門のカテゴリーを整えたという経緯があります。その意味で青少年奉仕は包容力に富む考え方であり、内外を厳密に区別する理由も見当たりません。事柄の性質に応じて青少年奉仕と共通の基盤で理解することが適当な場合もあり、特に危機管理に関する事項などは青少年奉仕と共通の視点で運用されることにも注意する必要があります。

ロータリーのホットスポット

もう一つ「ローターアクトはどうか」という問

題があります。この疑問は甚だもっともなことですが、これは青少年奉仕の問題という以上にロータリー全体の動向に関わる問題であり、正にロータリーの現在を映し出すホットスポットであることを理解してください。

ごく最近までローターアクトは青少年奉仕を代表するプログラムの一つとして把握されており、青少年奉仕月間のリソース集(月間冒頭にメール配信されるもの)にもローターアクトが列記されていました。地区組織としてもローターアクト委員会は青少年奉仕部門に属する委員会として位置づけられており、当年度もその構成を維持しております。しかし、直近複数年度(2023年4月28日、本年4月26日配信)のリソース集には、そのいずれにも既にローターアクトの記述はなく、当地区の組織においても2024-25年度よりローターアクト委員会の位置付けが根本的に変更され、青少年奉仕部門から切り離されます。ローターアクターの地区委員も誕生することになるでしょう。ようやくその準備が整いつつあるということです。

ローターアクトは2016年の規定審議会から順次その位置付けが変更され、2019年の規定審議会においてクラブのRI加盟が認められました (<https://my.rotary.org/ja/recent-rotaract-policy-updates>)。しばしば用いられる標語によれば、ローターアクトは「ロータリーのプログラムからロータリーのパートナーへ」と大きく立場を変えました。従来のローターアクトをイメージされる方は、まずこの大きな変更点をよく理解する必要があります。またローターアクトの上限年齢の一律設定(30歳)が廃止され、上限設定は各クラブの自治裁量に委ねられたこと(細則自治)もよく理解しておく必要があります。更に言えば、一定の要件を満たせばローターアクトクラブがグローバル補助金を使用することも可能となり、日本の第2660地区において遂に世界初の活用実例が登場しています(世界初!ローターアクトクラブ提唱によるグローバル補助金が承認 | ロータリーボイス(rotaryblogja.org))。

そして最新の情報によれば、2024年6月末までに、ローターアクトクラブの会員もロータリークラブセントラルにアクセスできるようになるとのことです(RIのメール通知:2024年4月26日)。ロータリークラブセントラルは、クラブ目標の設定と管理の重要なツールであり、ローターアクトはこの点でもロータリークラブに一層接近します。

これらは極めて大きな変化です。ロータリーの奉仕プログラムでなくなったのですから「青少年奉仕」の 카테고리から外れますし、いずれ地区委員会の位置付けそのものを変更する必要があったのも当然のことです。また、同じ視点からみれば、ローターアクトがロータリーと同格であるならローターアクトも PETS や地区研修・協議会へ出席するのか、ガバナーはローターアクトも公式訪問するのか等々、従来からみれば「そんな馬鹿な」と思えるような疑問が次々に湧き出てくるはずですが、本地区ではこうした当然の疑問に運用を整合させるだけの実務的な備えができておりませんでした。当年度に集中的に論点を整理し、思い切った変更を行うだけの一応の準備が整いつつあります。24-25年度以降には実施可能なところから逐次制度又は運用を変更していくこととなります。ローターアクトを提唱されているクラブは是非注意をお願いします。

ローターアクトは、プログラムの対象から自立したプレーヤーへと立場を変え、いま正にロータリーによる「庇護からの独立」が求められています。見方を変えれば、非常に厳しい環境の変化に晒されているということでもあります。ロータリーとしても、これまでのようにただ庇護するだけという向き合い方はできませんが、ローターアクトの自立を促進し、その自活力の増進を支えるという視点は必要であり、そのような支援を行うことが重要になるでしょう。そのための向き合い方として、行動計画の視点（「参加者の基盤を広げる」）を参考にしながら、ローターアクトと一種のパートナーシップを切り結び、相互に補完し合って活力を高め合うような関係性を構築できないか、それぞれのクラブで考えていただきたいと思います。これは、私が地区研修・協議会において示した視点のひとつでもあります（月信7-2月号4ページ4(6)）。是非ご参照いただきたいと思います。

ローターアクトには希望の芽もあります。本地区では最初の大学基盤ローターアクトとなる帝京大学福岡ローターアクトクラブが発足しました（月信2月号27ページ）。注目の成長点であり、提唱クラブ（大牟田北ロータリークラブ）との新しい関係性がどのように育まれていくか、今後の展開に注目したいと思います。他に先駆けて模範を示すような素晴らしいク

ラブに成長することを期待します。

もう一つ、ローターアクトと類似した性格を備えるクラブ形態に衛星クラブがあります。この衛星クラブとの関係でも何かしら好ましい相互作用を紡ぎ出す工夫ができないか、この点もひとつの視点になるように思います。

青少年奉仕 —危機管理のホットスポット

さて、忘れてはならない視点のひとつに「危機管理」の問題があります。国際青少年奉仕プログラムでの取扱いを発端とする課題意識ですが、今ではその裾野を大きく広げ、幅広い対象を取り込む重要な課題意識へと変化しています。

既に国際青少年交換プログラムにとどまらず、青少年関連プログラム全般（米山を含む）を対象を広げており、ときにはロータリアンの非行まで対象に取り込む課題意識となりました。また、かつてのようにハラスメントの問題だけにとどまらず、事故や災害時対応などもこの分野の問題として扱われるようになり、危機事象の予防から発生時における緊急対応手順の確立までの各段階を視野に入れ、様々な取組が進められるようになってきました。災害時相互支援協定の締結、ボランティア誓約書の改訂整備等も着実に進められており、危機管理研修も定期的に開催されるようになっております。

代表的なリソースとして「ロータリー青少年保護の手引き」があります。この機会に理解を深めてください（<https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotary-youth-protection-guide>）。

むすび

青少年奉仕はロータリーの活動全体に関わる課題意識の揺れや動きをビビッドに反映しています。それだけやり甲斐に満ちた奉仕活動の分野であるということもできるでしょう。5月冒頭には本年度の青少年奉仕月間リソース集が皆様のお手許にも配信されるはずですが、是非この機会にいろいろなりソースを参照し、理解を深めていただきたいと思います。

PDFでは各項目をクリックすると資料を閲覧またはダウンロードできます。
項目によっては事前にマイロータリーへのログインが必要になります。

一般的な参考資料

マイロータリー
2023-24年度テーマロゴ
2023-24年度RIテーマ講演
2023-24年度会長イニシアチブ(概要)
ロータリー賞
組織規定・ロータリー章典・R財団章典
決議審議会・規定審議会
ロータリーについて
ロータリーの優先活動
ロータリーの組織構成
ロータリーのリーダー
パートナー
ロータリーの歴史
年次報告 / 財務情報
ロータリーのラーニングセンター

ロータリーの行動計画

行動計画のリソース
「クラブを通じてできること」のチラシ
戦略計画立案ガイド
戦略的優先事項の白書 1・2・3・4

多様性、公平さ、インクルージョン

多様性、公平さ、インクルージョンに関するリソース
ロータリーのDEI行動規範
DEIに関する用語とその説明
「多様な会員が集まるクラブに」の調査
マイクロアグレッションへの対応方法(演習)
マイクロアグレッション: 謝る時のポイント

ロータリー財団

ロータリー財団について / 歴史
重点分野
重点分野のパンフレット
ロータリー財団参照ガイド
グローバル補助金ガイド
グローバル補助金のモニタリングと評価の計画に関する補足資料
ご寄付
ご寄付の方法
計画寄付
寄付者の認証

持続可能性のための6つのステップ

ロータリーカード(オリコ)
ロータリーカード(ダイナース)
寄付&補助金ニュースレター
ポール・ハリス・ソサエティ
ロータリー平和フェローシップ:ロータリアンの役割
ロータリー補助金
恒久基金

ポリオプラス

ポリオ根絶(End Polio Now)支援サイト

会員増強

会員増強

クラブの現状を評価し、適応する

クラブ計画アシスタンス
クラブの健康チェック
会員増強のための評価ツール(下記一括)
・地元の職業を反映したクラブに(職業分類調査)
・多様な会員が集まるクラブに(会員多様性調査)
・入会候補者を見つける(会員候補者情報の収集)
・会員維持力を高める(会員維持調査・分析)
・会員の満足度を高める(会員満足度アンケート)
・退会の理由を理解する(退会者アンケート)

現会員の参加を促す

奉仕と友情の輪を広げよう
スキルとネットワーク

入会候補者とつながる

入会候補者向けのチラシ
「ロータリーとは?」名刺サイズのカード
入会候補者向けイベントの開催
「若い世代の職業人とともに」デジタルキット
カスタマイズ可能なクラブパンフレット
入会候補者を見つける
入会候補者への対応マニュアル
法人会員導入ガイド
入会候補者情報プログラムでクラブの会員増強を図る
入会候補者情報プログラムで地区の会員増強を図る
ロータリーの成長を導くイベントを計画しよう

新会員が溶け込みやすい環境をつくる

ロータリーへようこそ(ビデオ)
新会員オリエンテーション
ロータリーの基本情報

活気あるクラブをつくる

会員増強ガイド:地域に合った計画を立てよう
元気なクラブづくりのために
クラブ運営の柔軟性
クラブ会員増強委員会のためのチェックリスト
地区会員増強委員長 研修セミナー

新クラブを結成する

新クラブをつくろう
ロータリークラブ結成ガイド
クラブのモデル
衛星クラブのガイド
パスポートクラブのガイド
新クラブを育成する

ロータリーの奉仕・参加促進

地域調査の方法
「地区委員会」のページ
奉仕・参加促進に関する動画
プロジェクト向上プロセスに関するよくある質問
プロジェクトフェア
プロジェクトの流れに関するリソース
・My ROTARYのフォーラム
ーグループへの参加手順
・ロータリーショーケース
ーロータリーショーケースガイド
ロータリー行動グループ
ロータリー地域社会共同隊 (RCC)
ロータリー重点分野ガイド
ロータリー奉仕のニュースレター
職業奉仕の手引き:実践しよう
ロータリー親睦活動グループ
ロータリー友情交換

若いリーダーのためのリソース

インターアクト
インターアクト唱題 ロータリークラブとアドバイザー向けのガイド
ローターアクト
ローターアクトハンドブック
標準ローターアクトクラブ定款
青少年交換
青少年交換ハンドブック
ロータリー青少年保護の手引き

ロータリーの公共イメージ

ロータリーボイス (ロータリーの公式ブログ)
ブランドリソースセンター
ロータリーのブランドについて
「世界を変える行動人」のメッセージ
広報
メッセージ作成ガイド
メディアセンター (ロータリーの概要資料など)

学友

ロータリーの学友

役割別・運営

新会員
クラブの役割
研修リーダー
地区の役割
クラブと地区の運営
ニュースレター (登録)
各種レポート
ロータリークラブセントラル

各種賞・表彰

各種賞・表彰

ロータリー国際大会

ロータリー国際大会

関連団体

ロータリーの友
四つのテスト (由来)
ロータリアンの行動規範
決議 23-34 (英語・日本語)
ポール・ハリスとロータリー (アニメーション)
ロータリー文庫
(公財)ロータリー米山記念奨学会
(公財)米山梅吉記念館
(一社)国際ロータリー青少年交換多地区合同機構
情報研究会
RLI日本支部
GPEI / 世界ポリオ根絶推進計画

ウクライナ支援

ウクライナ危機へのロータリーの対応・支援方法

被災地への支援

「青パト贈呈式」

地区幹事 大神 朋子 (福岡東RC)

2024年4月22日月曜日、久留米市役所において、青パトの贈呈式が行われました。吉田ガバナーよりレプリカキーを贈呈し、原口市長からは感謝状が手渡されました。

この青パトは、令和5年7月豪雨災害の支援として、地区補助金より久留米市に対し贈呈することになったものです。青パトとは、青色回転灯を点灯させて行う自主防犯パトロールに使用する車両であり、久留米市田主丸町内で活躍していた青パトが豪雨により浸水し使用ができなくなったとのことで、支援を行うことになったものです。

贈呈した青パトには「国際ロータリー 2700号」という名前がつけられました。車両の後部にはロータリーマークがついており、久留米市のキャラ「くるっば」が

田主丸町の名産品である巨峰を持つイラストも描かれています。

贈呈式には、原口市長のほか市の関係者のみなさん、そして久留米北ロータリークラブの横溝会長、轟幹事、久留米中央ロータリークラブの曾会長、古賀幹事、地区ロータリー財団委員会の中村光委員長にご出席いただきました。

被災した地域はまだ復興途中であり、これからも支援を必要とされる状況とのことです。

この青パトが地域で活躍してくれることを祈念致します。

※当日の様子は、読売新聞朝刊(4月25日号)に掲載されました。



青少年奉仕月間によせて



青少年奉仕委員会

委員長 山本 啓之 (若松中央RC)

今月は青少年奉仕月間になっています。ロータリーにおける青少年への奉仕は古くは1908年に始まっています。

2010年4月の規定審議会で新世代奉仕はロータリークラブの活動の土台となる第5の奉仕部門として承認されました。また、2013年の規定審議会で新世代奉仕から青少年奉仕へ名称変更となりました。

青少年への奉仕に関する分野の中でも、教育分野では国際青少年交換、自己開発分野ではインターアクトクラブ、RYLA・青少年育成が理事会で採択されたRIの常設プログラムであります。

私たちの第2700地区も青少年奉仕部門の中に4つのプログラムを実践する委員会を設けています。各プログラムの紹介を簡単にさせていただきます。

・インターアクト委員会

インターアクトクラブとは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のためのロータリークラブ提唱の世界的団体で、高校に在学中の生徒、又は年齢12～18歳までの青少年が入会できます。当地区では32のクラブが活動しています。

・RYLA・青少年育成委員会

RYLAとは、ロータリー青少年育成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards)の略で14～30歳までを対象とし、リーダーシップを引き出すことを目的としたプログラムです。当地区では毎年1泊2日のセミナーを開催しています。

・国際青少年交換委員会

1979年に理事会で採択され、海外の人々と交流

し、異文化を体験し、外国の生活のあらゆる側面を直接学ぶ機会を青少年に提供するプログラムです。当地区では今年度11人の高校生を1年間互いに交換しています。

・ローターアクト委員会

ローターアクトクラブとは18歳以上の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成する世界的な団体です。当地区では地域社会を基盤とする12クラブと大学を基盤とする1クラブがありましたが、今年度帝京大学福岡ローターアクトクラブが新たに設立され併せて14のクラブが活動しています。

2019年RIの理事会採択によりロータリーの正式なパートナーという立ち位置になり、当地区でもこの変更に対応し年齢制限の撤廃を行い会員拡大を図るクラブや、活動資金をアクター達が捻出し運営を行うクラブ、ロータリー財団のDDFを活用して新たな活動を模索するクラブ等々様々な変化が起こっています。次年度以降は青少年奉仕プログラムからも独立し、よりロータリーと近い存在になります。ROTARACT(ローターアクト)はROTARY ACTIONの略語です。今後はロータリーの活動にローターアクトが居る事が当たり前のようになり、若い行動力と発想力でロータリーを牽引してくれることを期待しています。

最後になりましたが、青少年奉仕はロータリーが活動の土台とする5大奉仕の1つです。時間と労力がかかるプログラムですが、私たちの未来を託す若者の育成を、もっと多くの会員の皆様方に知ってもらい参加して頂きたいです。

どうぞよろしくお願い致します。

第1グループ

2024年2月10(土)
会場/ヴィラルーチェ

第1グループガバナー補佐
大江 俊良 (豊前 RC)



ガバナー並びに来賓・クラブ紹介



懇親会(アトラクション)



懇親会(会場風景)

国際ロータリー第2700地区第1グループIMは、2月10(土)に豊前ロータリークラブがホストとして、大分県中津市の「ヴィラルーチェ」にて開催致しました。

会場キャパシティの都合上、地区外の中津市での開催となりましたが、吉田ガバナーをはじめとするご来賓、第1グループの会員の皆様も快くご参加頂き、無事開催できましたことを心より感謝申し上げます。

さて、今回のIMについて、実行委員会の中で、どのような設えを行うか協議を重ねてまいりました。3年ぶりに懇親会も実施できることも踏まえ、グループ内交流がはかれる時間帯を多く提供出来ればと考え、勉強会という少し硬い感じより、会員参加型のリラックスした方向でのプログラムを組ませて頂きました。そこで、テーマとして「open your heart open my heart」～2700地区 東端の端から愛を込めて～と掲げました。

吉田ガバナーのメッセージ「ロータリーを開き ロータリーを前進させよう」を受けまして、参加会員の皆様が、それぞれ自身の心を開き、クラブ、仲間、ロータリーを思う「heart」を今一度、認識して頂き、収束したとはいえ、コロナの影響、また紛争・災害など混沌とした状況からの平和への歩みをこの2700地区の東の端である豊前の地から、会員一丸となって創り上げるIMを成功させ、さらにロータリー活動を前進させていきたい。その思いを反映したテーマであります。まず第1部では、北九州エアターミナル株式会社代表取締役の鮎川典明様を講師に迎え「北九州

空港の現状と今後の展望、インバウンドについて」と題し講演を実施いたしました。この地域の経済活動に欠かせない高いポテンシャルを持つ北九州空港の更なる発展を期待させる内容であり、各地ロータリーの活動の充実や会員増強に向けて「気づき」の時間になったのではないかと思います。

そして第2部では「心を開いてクラブ愛を語ろう」と題しまして、それぞれのクラブで我こそは、溢れんばかりのクラブ愛を持っている。そんな思いの強いクラブ代表の方に5分間のアピールしていただきました。各クラブの方も、そのクラブ愛のひびきを受けて、改めて心開いて自クラブ愛を高めてもらえたのではないかと実感しています。その後、吉田ガバナーに心開いたライブ感のある所感を頂き、会場が一体となる締めくくりとなりました。

懇親会では、さらにグループ間の仲間意識を構築させるべく、様々なアトラクションでおもてなしを致しました。特に、手前みそではありますが、私がバンドマスターを務めます豊前RCバンドの演奏では、この日のために練習を重ねてきた成果を発揮でき、皆様に向け最大に心を開いたロータリー愛を伝えられたのではないかと自負しております。

なにぶん、豊前ロータリークラブは少ない人数であり、行き届かないところが多々あったと思いますが、皆様のご協力により盛況のうちに終えることが出来ました。心より感謝いたします。

第3グループ

2024年2月17日(土)

会場／九州国際大学KIUホール

第3グループガバナー補佐

岡橋 正之 (八幡 RC)



ガバナー挨拶 RI2700 地区 吉田知弘



第1部(講演) 作家 町田そのこ氏



会場風景 第2部(交流会) 三線演奏の「沙織&そーはく スペシャルライブ」

グループ別交流会

2023年11月22日(水)に若松ゴルフ倶楽部で第3グループの親睦ゴルフコンペを開催致しました。天候にも恵まれ23組のメンバーが楽しくプレーを行いました。そして、IMは吉田知弘ガバナーはじめ多くの来賓にも参加頂き、2024年2月17日(土)に九州国際大学にて開催致しました。テーマは「交流・シンカ」で、コロナ禍でかなわなかった交流の真価を再確認し、ロータリー活動の新化・進化・深化を図りました。第一部の講演はKIUホールで開催し、2021年「52ヘルツのクジラたち」で本屋大賞を受賞した作家の町田そのこ氏をお呼びして、インタビュー形式で楽しい話を聞くことができました。なお、52ヘルツのクジラたちは映画製作され、現在全国の映画館で上映されています。第二部の交流会(懇親会)は食堂に移動して、各クラブの会員が小グループに分かれ、八幡ロータリークラブ会員にも入ってもらい、軽く酒も飲みながらロータリーを語り合ってもらいました。各クラブ会長による自ク

ブ紹介や親睦ゴルフ大会の成績発表、そして最後は三線演奏の「沙織&そーはく スペシャルライブ」で盛り上がり、30分も延長となりました。

第3グループのIMは全員登録ですが、登録料は3,500円なので、講演会と交流会(懇親会)を開催し、会場を設営して記念品まで配布するためには、コスト削減を図らなければなりません。そのため会場として九州国際大学をお借りできたことは財政的にも運営上も大変助かりました。なお、第二部の交流会は食堂を全面的にレイアウト変更し、図面に引き直して、ステージを新設するなど設営が大変でした。また、大会冊子も電子配信とさせていただきました。

反省点は多々ありますが、このIM開催で今まで以上に八幡RCメンバーの結束が固くなったように感じます。IMに参加して頂いた皆様、運営などで関係した皆様全員に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

第4グループ

2024年3月2日(土)
電気ビル共創館 みらいホール(4階)

第4グループガバナー補佐
濱野 良彦 (福岡東南 RC)



福岡東南RC会長挨拶



第4Gガバナー補佐 歓迎の挨拶

G挨拶/講評
RI2700地区G 吉田知宏 (福岡東RC)教育講演
日本放送協会局長 竹添賢一 (福岡RC)

第1部 基調講演/頼志明 (台北中央 RC)

第2部 上田真也ファシリテーター
(福岡東南RC)

第2部 ディスカッションフォーラム



閉会の挨拶/IM実行委員長 新納洋

IM開催におけるホストクラブの使命について『地区の活動状況を十分に把握し、IMの活動が第4グループのクラブだけではなく、第2700地区に良い影響を發揮できる企画を立案しているかどうかと、自ら問いかけながら活動します』と活動基準を宣言し、そして、吉田知弘ガバナーと当クラブの松尾幸静会長の「テーマ」に応えるために、IMのメインテーマを「先駆ける第4グループ」、サブテーマを「希望を生み出すための10+4で、一歩前進」としました。例年よりも多くの各クラブからの会員のご出席を頂きましたこと心から感謝いたしております。

教育講演として、日本放送協会 福岡放送局 竹添賢一局長 (福岡RC) に「公共イメージ向上を目指して—公共放送の分野から学ぼう—」と題して、自然災害時の公共放送の役割の変遷について、その実例を交えての臨場感あるご講演に参加者一同皆、感銘を受ける内容でした。

台湾からお招きした現国際ロータリー第9ゾーンロータリーコーディネーターで頼志明パストガバナー (台北中央RC) に「台湾から世界の潮流を学ぼう—会員増強の戦略について—」のご講演を頂きました。明治大学のご出身で明快な日本語でのご講演では、会員増強



会場風景



受付の様様

戦略には衛星クラブやローターアクトクラブの役割に関するお話から、多くを学ばせて頂きました。引き続き第2部として「クラブの多様性を考える—衛星クラブは楽しいだけ?—」と題して第4グループの衛星クラブからの代表者4人、御厨尚慧会員 (福岡南RC 衛星C 委員会委員長)、西山一星会員 (福岡東令和あげのR衛星C 幹事)、松原基樹会員 (対馬ちんぐR衛星C 議長)、安東翔太会員 (福岡東南けやきR衛星C 議長) によるディスカッション・フォーラムを上田真也ファシリテーター (福岡東南RC) の絶妙なディスカッション・コントロールで、会員増強の戦略に関する有意義な多くのご発言を頂戴いたしました。

2019年後半から始まったパンデミックの影響から脱却し再生しなければならない時代背景の中で、継年的なクラブの活動の進展を予感させるIMでした。ありがとうございます。

九州4地区合同企画

第2700地区 の紹介

広報公共イメージ委員会
委員長 細川 忠広 (小倉中央RC)



第1グループ(香春岳/提供:香春町役場)



第2、3グループ(夜景観賞クルーズ/提供:北九州市)



第4、5グループ(百道浜/提供:福岡市)



第6グループ(JR久留米駅/提供:久留米市)



第7グループ(御花/提供:柳川市)

第2700地区は、福岡県全域と佐賀・長崎の一部を活動エリアとして60のクラブで約3,200名の会員の方々が日々奉仕活動に取り組んでいます。60のクラブを7つのグループに分かれて活動していますが、各グループによってグループカラーをクラブ訪問をしながら感じました。

第1グループは、大きなクラブはないものの、とにかくクラブ同士の仲が良く、ガバナー補佐の人柄などにもよるのかもしれませんが、結束力の強いグループだと感じました。そして、第2グループ・第3グループは、北九州を中心としたグループになり、小学校の教科書にも掲載されていた「北九州工業地帯」と言われていた過去があります。大きな工場が多く存在していて、TOTOの幹部や岡野バルブ・DENSOの社長などがクラブの会長をされていたり歴代ガバナーに名を残されています。また、第4グループ・第5グループは福岡市を中心としたグループになっていて、商業の街だと感じたのはやはり西日本シティ銀行の歴代頭取や岩田屋の歴代当主などがクラブ会長やガバナーなどを歴任されているところでした。更に、第6グループは久留米エリアを中心としたグループで、九州の中心地域という事で物流企業が多く集まる地域色をもって、物流企業や物流に関連した企業がメンバーには沢山いらっしゃるようです。第7グループでは名門武家、立花藩の当主がいらっしゃるかと、さすがはロータリーだと思いました。そして何よりも、九州最初のクラブである福岡

ロータリークラブには、七社会のお歴々が名を連ねておられ、ロータリークラブのメンバーだからと、気軽に話しかけて頂けたりと、ロータリーの友情や信頼感を心底感じる事が出来ました。

そこで、ボクの個人的なロータリーの楽しみ方をご紹介させて頂くと、会員数の多いクラブへメイキャップする事で、大型クラブの例会スケールを味わう事は出来ます。また、会員数の少ないクラブへのメイキャップはアットホーム感といえますか、何か具体的に示す事は難しいですが、ロータリーの温かさを感じられます。この違いを体感してもらいたいです。おススメです。

数年前、所属クラブだけの活動に物足りなさを感じていて、ロータリー活動ではなく他団体へ移籍しようかと考えていた時、福岡東RCの田村志朗氏と出会う機会がありました。彼の話聞いた後すぐに名刺交換を願い出て、彼の委員会活動に参加させてもらうようになりました。それが今、私が委員長をさせて頂いている「広報公共イメージ委員会」です。

我々広報公共イメージ委員会は地区とクラブを繋ぐ架け橋だと思っています。その架け橋として是非とも今回ご紹介させて頂いたメイキャップをお試して頂きたいと思います。所属クラブを基本として、会員数の多いクラブと少ないクラブの両方にメイキャップする事と、地区が行っている沢山の事業へ先ずはご参加いただき、その先は企画運営する側にも参画してもらえ事を切に願ひ、今回の紹介とさせていただきます。

第2720地区 の紹介

広報公共イメージ委員会
委員長 波佐間英樹(熊本中央RC)



阿蘇くまもと空港リニューアルオープン



熊本城宇土櫓修復中



慈善市 第2720地区チャリティーバザー



豊後高田昭和の町



中津城

第2720地区は九州の中央に位置し、熊本県41クラブと大分県33クラブと衛星2クラブ、合計76クラブで会員数は約2,300名で構成されています。

熊本第1グループは福岡に隣接している荒尾・山鹿と玉名で構成されています。温泉も多数あり、歴史ある玉名ラーメンはとても美味しくて有名なお店がたくさんあります。第2グループは世界文化遺産を目指しているカルデラ火山の阿蘇から、TSMCで開発が進む大津と熊本市内のクラブが属しています。第3・4グループは熊本市内で、市域名簿も作成し、お互いの交流もあり、より密接に繋がっています。特に80年の歴史ある熊本ロータリークラブは100名弱の会員が在籍されています。第5グループは宇土以南で八代に属し、500年の歴史のあるユネスコ無形文化遺産「八代妙見祭」が行われる地です。サイクルチャレンジの時には皆さんで暖かく迎え入れていただきました。熊本に次ぐ第二の都市です。第6グループは水俣、人吉、多良木までの南部のクラブが在籍しています。人吉・芦北の豪雨災害の時は全国から支援していただきました。2023年には復興を記念しての地区大会を人吉で行いました。サイクルチャレンジでは水俣でも給水所など協力していただきました。第7グループは熊本の西海岸と称される天草の風光明媚な観光地で水産業も盛ん

な島々です。本渡のアーケード街で撮影された『のさりの島』のロケ地巡礼に行ってみたくと思っています。大分第1グループも福岡に隣接した場所から山間から海側まであり、中津ロータリーは1982-83年度に向笠廣次氏がRI会長を務められた歴史あるクラブです。是非とも『中津城』に資料館がございまして観ていただきたいと思います。日田の豆田町も歴史を感じられる街並みで日田祇園の山鉾はとても勇壮です。第2グループは八幡さまの総本宮である宇佐神宮の近隣のクラブで構成されています。豊後高田の中央通り商店街は昭和にタイムスリップしたように錯覚します。第3グループは全国で有数の温泉地、別府と湯布院のクラブです。八湯の温泉郷があります。第4グループは大分市域で構成されています。大分ロータリークラブは70年の歴史があり、大分の多数の企業の方々が在籍いたしております。2023年のポリオデーでは歩行者天国のイベントで九州4地区の合同事業での募金活動とチャリティーバザーを開催いたしました。第5グループは大分の以南にあたり太平洋沿岸と山間にあるクラブで構成されています。関あじ関さばで有名な佐賀関港からは四国へ最短で行く事ができます。出前セミナーなどで数か所しか訪問していませんが、どのクラブも魅力的で会員の皆様もとても優しく迎え入れていただいたのが印象的です。

九州4地区合同企画

第2730地区 の紹介

公共イメージ委員会
委員長 田村香代子(都城中央RC)



ジャッキーチェンのポリオ



福島キッズ



鹿児島RCチャーターナイト



宮崎RCチャーターナイト



台湾RYLA初参加

国際ロータリー第2730地区は昨年認証および創立70周年を迎えました。

当初は九州は一地区として370地区とされていましたが1968年以降熊本、大分、宮崎、鹿児島の四県で再構成され373地区として編成されました。

宮崎県都城市の市立図書館に当時の盛大な地区大会の記録が今も収蔵されています。

1986年以降は鹿児島、宮崎の2県で第273地区となり1991年から第2730地区として現在に至ります。

思えばこの頃からロータリークラブの活性化がピークを迎えていたのではないのでしょうか。

さて この地区のご紹介をさせていただくにあたり県民気質が若干異なる点を私見ですがお伝えしておきます 隣り合う県とはいえ薩摩武士と日向おごじよとかチャキチャキとオツトリが反しながらも折り合うという融合性が存在することです。

そのためか皆さん議論好きでRLI活動が活発なものここにあるのではないかと思います。

こうしたところが多方面の「サービス」に繋がっていると自負しています。

特に青少年の人材育成、環境保全には惜しみない活動を推進しています。

地区の全体、財団委員会、米山委員会とは別にグ

ループで基金をつくり教育振興に尽くしています。東日本震災でも桜の木を移植贈呈、海岸・河川の浄化は年中行事となりました。

冬の寒い中多くの参加があり合わせてシンポジウムも開催されます。

つくづく、ロータリアンなんだなあ、この人達とは感嘆します。

海外においてもインド、スリランカ、台湾、アフリカなど枚挙にいとまがありません。

アフリカはマラウイの女性たち達がつくった小物をインターアクト達が主になって販売しその売り上げを労働対価として送金しています。

こうした活動も性善説の多いロータリアンにとって手痛い思いをすることもありその都度対策を講じ人生勉強を続けています。

近年は取って暇であってほしい危機管理委員会が活発になってきました。事が発生するたびに改善を図り今もなおその途中です。

こうして鹿児島と宮崎のいわば「破れ鍋に綴じ蓋」的仲間でロータリー活動に勤しんでいます。

是非、当地区にお立ち寄りいただき、南九州のロータリアンとお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

第2740地区 の紹介

公共イメージ委員会

委員長 公門 新治 (佐世保北RC)

委員 原田 徹 (雲仙 諫早南RC)



第3第4G



第1第2G



第5第6グループ



第7第8グループ



第9第10グループ

第2740地区は、佐賀県と長崎県を中心に、55クラブ、約2,200名の会員で、全体を10グループに分けて、日々ロータリー活動に取り組んでいます。グループ毎に特徴がありますので、その紹介をさせていただきます。

第1・第2グループは佐賀市及び周辺市町のクラブで構成されており、佐賀県の政治・経済の中心エリアに活動拠点を置いています。アジア最大級の熱気球の国際大会「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」ではロータリーマークの入ったバルーンも飛んでおり、ロータリーの公共イメージ向上に一役買っております。

第3・第4グループは佐賀県の伝統、文化、芸術、観光の中心エリアです。唐津・伊万里・有田など焼き物の一大産地が含まれており、全国的にも知名度の高い地域です。他の地域ではなかなかお目にかかれない職業分類が有るとか無いとか。足を運ぶ度に新しい発見をさせてくれる魅力的があります。

第5・第6グループは佐世保市及び周辺市町のクラブで構成されており、長崎県において県北と言われるエリアです。ハウステンボスを中心に、国内外の観光客で賑わっています。また、米軍基地もあり非常に国際色が豊かな地域で、良い意味で独特の雰囲気を感じられます。また、第3・第4グループに隣接しており、三川内焼(平戸焼)、波佐見焼の焼き物の産地という側面

もあります。

第7・第8グループは諫早市・大村市・島原半島を含む、長崎県において県央と言われるエリアです。諫早市・大村市は長崎県の物流・工業の中心としての役割を担っています。最近ではフルーツバス停が大人気です。島原半島はほぼ全体がジオパークに認定されており、豊かな自然と観光資源を活かした産業が多く、長崎市・佐世保市と合わせて三角形の観光エリアを形成しています。

第9・第10グループは長崎市及び周辺市町で構成されており、長崎県の政治・経済の中心であると共に、歴史・文化・観光の中心エリアという二面性を持った地域的な特徴があります。歴史的にも異文化交流が盛なことでも有名で、異国情緒溢れる街並みや文化は観光地としても世界的にも有名です。また、もう1つのジオパークである五島を含む地域で離島振興にも積極的な地域でもあります。

クラブの大小に関わらず、素晴らしいクラブばかりです。各クラブで特徴は異なりますが、皆さんがそれぞれのロータリーライフをエンジョイされています。第2740地区にお越しの際は、是非、私達のクラブにメークアップいただければ幸いです。地区をまたいでロータリーの輪が広がることを祈念して、ご紹介とさせていただきます。

行橋ロータリークラブ60周年 記念式典及び祝賀会報告

会長 林 鋭典 (行橋 RC)

ご来賓、また、各ロータリークラブ会員の皆様、先日は、行橋ロータリークラブの60周年記念式典及び祝賀会にご出席いただき、誠にありがとうございました。多くの皆様にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。

1. 行橋ロータリークラブ60周年記念式典

令和6年3月20日に、リーガロイヤルホテル小倉にて行橋ロータリークラブの60周年記念式典が開催されました。当日はクラブの歴史を振り返るとともに、これまでの活動を称える素晴らしい式典となりました。式典では、地域社会への貢献や国際的な交流活動など、ロータリーの理念に基づく活動が紹介さ

れ、会員一同が再びその重要性を認識する機会となりました。

また、特別なゲストとして、女子レスリング フリースタイル2020年東京オリンピック金メダリストの志土地真優さんをお招きし、記念講演を行いました。志土地さんからは、努力と挑戦の重要性についての貴重なお話を伺うことができ、多くの参加者が感銘を受けたことでしょう。

2. 祝賀会

記念式典の後には、祝賀会が行われました。会員同士やゲストの皆様との交流の場として、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。



会長挨拶



永年在籍表彰

3. まとめ

今回の60周年記念式典及び祝賀会は、行橋ロータリークラブの歴史をたどり、これまでの成果を称えるとともに、今後の活動に向けての意欲を高める貴重な機会となりました。会員一同、これからも地域社会に貢献し、国際的な友好を促進するために努めてまいります。

最後に、ご来場いただいた皆様、ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、行橋ロータリークラブの活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



志土地真優氏



集合写真

米山奨学生終了式・歓送会報告

米山記念奨学委員会

委員長 吉田 廣幸 (直方RC)

令和6年3月3日、TKPガーデンシティー博多にて、吉田知弘ガバナーご臨席のもと、米山奨学生11名(1人は事情により帰国)の終了式及び歓送会を行いました。当日は、指導教官・カウンセラー・継続奨学生・学友会・地区委員、総勢約50名の方々にお集まりいただき、先ず吉田ガバナーからお祝いの言葉を頂いた後、終了生一人一人に終了証が手渡されました。その後、終了生から指導教官へ感謝の言葉と、指導教官からも楽しい思い出を語って頂きました。その後、みんなで記念撮影を行い、地区米山記念奨学委員会主催の歓送会を行いました。少しお酒を飲みながら、短かったけれどギュッと詰まった日本での思い出話で盛り上がりました。

また、カウンセラーに対し感謝状の授与を島信英米山奨学会理事にお願いし、カウンセラーからも色々な思い出スピーチを行って頂き、参加者のみなさんは大変感動していました。「**米山事業の鍵はカウンセラー**」と言われるが、まさにその言葉通りのストーリーが語られました。

終了生の方々は、今後各分野で活躍されていくことと思いますが、米山奨学生としての思い出、特に

カウンセラーの事は決して忘れることはないでしょう。**これが米山奨学事業の最大の特徴です。**

奨学金を給付するだけでなく、世話クラブ・カウンセラー制度により、日本のロータリアンとの交流及び日本の様々な文化に触れることで、**ロータリーの奉仕の精神**を理解して頂き、真の親日家になって**日本と世界との懸け橋**になって頂くことに今後期待したいと思います。そのためにも、彼らには積極的に学友会に入会して頂き、ロータリーとの繋がりが途切れることなく、様々な形で社会や世界に貢献してくれることと信じます。

日本のロータリーの生みの親である米山梅吉翁の生前の功績を讃えてスタートしたこの事業も70年を過ぎました。我々ロータリアンの先達が、大切に引き継いできた本事業を今後とも継いで行く、その一役が担えればと強く感じた今回の終了式・歓送会でした。

参加された関係者の皆さん、本当にありがとうございました。そして、米山奨学事業を支え続けて下さる第2700地区のロータリアンの皆さん、本当にありがとうございます。**感謝**



地区委員長の挨拶



ガバナー・終了奨学生・指導教官・カウンセラー



歓送会乾杯



歓送会



終了式「手につかないで」



終了奨学生・ガバナー・地区委員

米山記念奨学生紹介



福岡女学院大学
国際キャリア学部
学部4年生

世話クラブ：大牟田南RC
カウンセラー：山谷啓太

タバ・プラミア (ネパール)



将来、国連に関する組織で働くことを目指しています

国際ロータリー第2700地区2023年度ロータリー米山記念奨学生のタバ・プラミアと申します。福岡女学院大学 国際キャリア学部 国際キャリア学科 4年で、大牟田南ロータリークラブにお世話になっております。私は、ネパールのバクタプル出身です。バクタプルは、首都カトマンズから東へ約12キロ距離にあり、古いお寺や美しく精巧な建築物があるところです。

私は、将来国連に関する組織で働くことを目指していました。母国のネパールでは、日本の組織から支援を受けることが多いため、日本で勉強することによってこのような組織で働く力を身につけることができると思い、2018年7月に日本に留学しました。最初の2年間は福岡市内にある福岡日本語学校では基礎から大学に進学するために専門的なことまで学びました。それによって文化と言葉が異なる国で生活する上で、困らないように生活を送ることができました。

2020年3月に福岡日本語学校を卒業した後、福岡女学院大学に入学しました。入学以来、日本語の学習に努める一方、英語や専門科目を含むその他の授業を通して、将来の夢を叶えるために必要な知識やスキルを学んできました。今は、専門ゼミでは中東・北アフリカ地域研究の山口ゼミで学んでいます。ゼミでの調査・研究と発表を通して、世界の動きについて洞察することができる広い視野と思考力、判断力を身につけるとともに、「今後の発展が最も楽しみな街」だと言われているカタールの教育面、文化面、スポーツ面における成功と失敗について取り上げ、特に外国人労働者が働くことを余儀なくされていることを知りました。大学卒業研究テーマは私の出身であるネパールからの労働者が多

いので、特に労働者の問題を取り上げていきたいと考えています。さらに日本企業への就職を目指して就職活動に注力しています。

今年、米山記念奨学生となり、ご支援をいただくことだけではなく、異なる文化交流や例会を通して、食事マナー、コミュニケーションスキルを身に付けることのできる貴重な機会になっています。家族から離れて日本で一人暮らししていた私は、今年からは、新たな家族ができたような気持ちになり、前に比べると毎日とても嬉しく、安心して学内や学外の活動に積極的に参加できたのは、奨学金のご支援のおかげです。

最後になりますが、今後も沢山の交流会やボランティア活動を積極的に続けたいです。ご支援をいただきまして誠に感謝しています。





国際的な考え方を持つ、立派な研究者になりたい

国際ロータリー第2700地区2023年度ロータリー米山記念奨学生の劉安然と申します。現在、福岡女子大学大学院・人文社会科学部研究科・言語文化専攻の博士後期課程2年生です。出身は中国の河北省の保定市で、北京のすぐ南にある小さい町です。

大学時代、中国語訳の『万葉集』を読んだきっかけで、日中の交流やそれを反映する文化・文学に関心を持つようになりました。異文化に触れて、国際的な経験を積んで国際的な考え方を身につけたいと考え、且つ、素晴らしい研究者や環境の中で、教養を身につけて充実した研究生生活ができるように日本への留学を決めました。

大学院に入学してから、万葉集を中心にして比較文学的な研究を行っています。博士前期課程で、万葉集における大伴旅人の作品について比較文学的な研究をしました。後期課程に進学後、作者を限定せず、万葉集における〈恋情表現〉について研究しています。相間の表現を考えるだけでなく、〈知識の共有〉が必要である宴席歌における〈恋情表現〉にも重きを置き、宴

席の場で発表する歌の表現という視点から考え、その歌がどのような工夫をして〈恋情表現〉を使っているのか、その場で如何なる共感を呼ぶのかを研究しています。

古い時代から日中両国の交流が多いことが数々の文献に残されています。日本の上代文学と日中比較文学の研究を進める中で、〈漢字文化圏〉という概念についての理解が深まったと感じています。

この度、ロータリー米山記念奨学生になることができ、世話クラブの皆様大変お世話になっており、ほんとに感謝しております。これをきっかけに、奨学生とロータリアンの方々と国際的な交流を深めたいと考えています。

将来、在学中に取り組んだ研究をさらに詳しく進めて行き、国際的な考え方を持つ、日中比較文学の分野における、きちんと指導できる立派な研究者になるつもりです。



クラブ紹介

第7グループ 筑後RC

会員増強に取組み、クラブの活性化を目指す!!



筑後RC 2023-2024年度会長 齋藤 俊英

1957年(昭和32年)12月、21名のチャーターメンバーで創立以来、最年少30歳から最年長91歳まで老若を問わず「融和と団結の精神」があり年齢差を感じさせない和やかな雰囲気があるクラブです。

例会等は勿論のこと、ゴルフ同好会をはじめ、第1例会日には「ちょっと飲み会」を行い日々、会員同士の親睦を深めております。

現在も1978年から、筑後RC旗杯少年野球大会を開催及び、1987年からは、筑後RC旗争奪ジュニアバレーボール大会を開催、また市内保育園・小中学校等にチューリップ球根を植える等の地域社会の融和に貢献しています。

1983年には台湾(南投RC)と姉妹クラブ締結調印を結び、親善訪問を重ね交流を深めています。

設立 1957年12月5日 例会日 毎週木曜日 12:30～
例会場 グランドホテル樋口軒 会員数 26名(内、女性会員 0名)



吉田ガバナー公式訪問



筑後RC旗争奪ジュニアバレーボール大会



クリスマス家族会で秒数当てゲーム



第7グループ 大川IRC 「ロータリーを楽しもう」

会長メッセージ 「ロータリーを楽しもう」



大川IRC 2023-2024年度会長 貞包 忠



吉田ガバナー公式訪問 (2024年9月28日)

大川ロータリークラブは、1971年4月9日に33名のチャーターメンバーとともに、柳川ロータリークラブのスポンサーにより誕生しました。

例会は、毎週木曜日の12:30から13:30まで、料亭・旅館 三川屋で開催されています。

現在、会員数41名のうち、女性会員数1名です。

2023年～2024年度は貞包 忠会長のもと、地域への社会奉仕活動や会員間の親睦と交流を深める例会を開催しています。特に国際青少年交換プログラムに力を入れており、累計45名を海外に派遣し、受入れも行ったりと、将来世界友好の懸け橋としての親善大使に成長してくれることを願って国際青少年交換プログラムを継続しています。

会員増強にも力をいれ、3名の純増ができました。

今年度は、第2700地区へ宮地豊ガバナー補佐を輩出し、第7グループのインターシティ・ミーティングの主管を行い吉田知弘ガバナーや野崎千尋ガバナーエレクト、他グループのガバナー補佐等の来賓にお越しいただき、木下敏之福岡大学経済学部教授の基調講演、そして第7グループ各クラブが元気となるための戦略発表を行い、無事に終わることができました。



クリスマス家族会 (2023年12月23日)



2023-24年度 国際青少年交換学生のお見送り ビクター・マーシャル君 今村健次郎君 (2023年8月28日)

第7グループ 大牟田RC 未来に繋がる70周年

大牟田ロータリークラブは、創始の精神を忘れず、奉仕の理念のもと会員一人ひとりが職業奉仕を軸に地域社会・国際社会への貢献を続けています。その歴史の中には健全な青少年育成に寄与する事業の開催、さらにはロータリーを通じて在日する米山奨学生や交換留学生等の学生たちを交えた国際交流体験茶会など、地域の活性化につながる幅広い活動が今もなお受け継がれています。

そのような時代を紡ぎ迎えた創立70周年の本年度は、その記念事業として「宝の海プロジェクト」と題し、小学4年生から6年生を対象に海にまつわる各種事業とその海の前でつながる海外（台湾）の小学生とのICTを

使った交流事業を実施致しました。今回の事業開催にあたっては、全てが初めての試みとして手探り状態から始まりましたが、会員はもとより、地域の関係各所をはじめ台湾のロータリーメンバーの方たちにもご協力を頂いたことで実現できたことと感謝しております。さらに、クラブとしてご協力いただいた台北市101RCとは今後も友好関係を築いていく運びとなりました。

70周年の節目の年に、例年に増して躍動感のある事業を行えたことは、クラブにそして地域に未来に繋がる新たな可能性の扉を開くことができたものと感じております。



大牟田RC 2023-2024 年度会長 奥園 渉



「宝の海プロジェクト」クルーズ船に乗り込んでいるところ



台湾とのICT交流事業

設立 1954 (昭和29) 年6月1日
例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場 だいふく 4階
会員数 63名(うち女性5名)



台北市101RC 歓迎夜間例会

第7グループ **大牟田北RC** 「原点回帰」と「新しいクラブスタイルの探求」

大牟田北ロータリークラブは、大牟田ロータリークラブをスポンサークラブとして1988年12月29日創立され、今年35周年を迎えました。会員数は54名(うち女性会員3名)と、毎年確実に会員数を伸ばしています。有明海を一望できるおおむたハイツで毎週木曜日に例会を開催しています。当クラブでは、創立以来の基本的理念「和を以て貴しとなす」「一隅を照らす」を、一人一人が心に抱き活動しています。その思いは、クラブの特徴にも現れています。近密な人間関係と一体感、寛容さ、自由に発言できる雰囲気。そして、何よりもみんなというと何故か楽しいのです。近年、退会会員が極めて少ないことも、このような特徴を反映していると思います。

クラブ奉仕・職業奉仕は、懇親を通じ相互理解を深め、一人一人が社会人としての更なる成長を目指しています。例会以外にも、観月会、クリスマス家族例会、観桜会、長寿のお祝い会、新会員歓迎会、趣味の会、親睦

旅行などが行われています。また、新たな企画も多く提案され、活動は更に活発化しています。青少年奉仕事業では、帝京大学福岡ローターアクトクラブ創立にスポンサークラブとして寄与しました。米山奨学生受入れ、青少年交換留学生派遣と受入れ、大牟田青少年武道大会共催などを積極的に行っています。社会奉仕事業では、児童養護施設のこども達と一緒に、三池炭鉱で亡くなられた方の慰霊碑の清掃を毎年行っています。市街や公園の清掃、二つのロータリー文庫の維持も行っています。

急速に仲間が増えた私たちは、創立時の原点に立ち戻り、クラブの歴史を尊重しつつ新しいクラブのスタイルを探求しています。それは、会員歴の長短にかかわらず、理論的にも感覚的にも、みんなが「いいね!」と思える形でなければなりません。新しい形に進化することで、今以上に地域社会に受け入れてもらえるクラブとなるよう努力しています。



大牟田北RC 2023-2024年度会長 松浦 稔展



家族懇親忘年会(2023年12月21日) おおむたハイツ

設立 1988年12月29日
 例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場 おおむたハイツ
 会員数 54名(うち女性3名)



IM元気となるための戦略発表



第1回来日学生スピーチコンテスト タベアの応援



ポリオ撲滅チャリティボーリング大会

今年度クラブテーマ ロータリー、“例会を楽しみ、地域のために奉仕を”



大牟田南RC 2023-2024年度会長 鶴原 敏夫

我がクラブの最大の誇りは、作詞前野義昭(入会昭48)、作曲大久保修吉(入会昭46)「大牟田南ロータリークラブの歌」があることでしょう。

大牟田南ロータリーの歌

作詞 前野 義昭
作曲 大久保修吉

一、有明海のさざなみが
愛の光にきらめくように
小さなともし灯 輪になって
広がり照らせ ふるさとを
われら大牟田南ロータリー

二、不知火沖から 吹く風が
乙女の髪を とくように
和む心は 輪になって
ぐるぐる廻れ ふるさとの
われら大牟田南ロータリー

三、港の空に 赤い灯が
またたくところ 地の底に
湧くよ 日本のエネルギー
創る力を 集めよう
われら大牟田南ロータリー

設立	1967年8月7日	例会日	毎週金曜日 12:30 ~ 13:30
例会場	新みなと	会員数	26名(うち女性会員0名)



大牟田南夏祭り米山奨学生と



大牟田大蛇山夏祭りと名物カステラ饅頭の宣伝
護国神社にて
2023年10月27日(土)



記念碑もピカピカに
2023年8月18日(金)



今年度3回目の社会奉仕作業 清掃活動(大牟田延命公園、動物園前・公園内花見の後の清掃活動を実施)2024年4月12日



美化活動 国道208号線 2023年8月26日(土)



大牟田南RC 思い出の写真

50周年事業(2017年9月)として、「ふるさとを鳥になって見よう」を企画。子供たちを対象に親子同伴でバルーンに乗っていただきました。総勢380名くらいだったと思います。降りてきた時の、はじける笑顔は今でも思い出します。

第7グループ 八女RC “改めて学ぼう ローターとは”

当クラブは1970年に久留米東ロータリークラブをスポンサークラブとして創立いたしました。

本年度の会長テーマである“改めて学ぼう ローターとは”を掲げて例会で研修会を行っています。繰り返すことで「ロータリーとは」「職業奉仕とは」「四つのテストの意義」を理解し会員一人ひとりがロータリーの良さを伝えることができるようになるのが目的です。

毎年行っている活動に「矢部川源流の森を護る奉仕活動」がございます。第7グループの地域に潤いをもたらす有明海まで注ぐ矢部川流域の整備清掃活動です。数年前より相次ぐ豪雨災害で源流付近まで行くことが困難

になりましたが、災害を忘れない為にも現地に行き活動をしています。今年度は、八女市矢部村（11月）と八女市立花町（3月）の2カ所で整備清掃活動を行いました。また、タイ国チェンマイのクラブと一緒に現地の小学校へトイレの寄贈と修理を行い、細々ではありますが交流をしています。

女性会員が4名になり会員数は多くはありませんが、楽しく和気藹々とした雰囲気です。1月より国際青少年交換留学生アビゲイル（オーストラリアより）を受け入れて、ますます賑やかになりました。



八女RC 2023-2024年度会長 田中 千穂

設立 1970年3月27日
例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場 ひよっとこ
会員数 23名(うち女性4名)3月末



矢部川源流の森を護る奉仕活動(11月矢部村)



矢部川源流の森を護る奉仕活動(3月立花町)



タイ国チェンマイ ナックホンピンRCとトイレ新設記念式典参加2019年6月



国際青少年交換留学生アビゲイル オーストラリアより1月来日

第7グループ 柳川IRC

青少年への支援・育成に熱意をもって取り組んでいます

柳川ロータリークラブは1960（昭和35）年5月4日大牟田ロータリークラブをスポンサーとして会員23名で創立しました。会員数45名（内、女性会員数4名）。

例会は毎週水曜日12時30分～13時30分、例会場は「御花」で行っております。私で64代会長となります。

柳川ロータリークラブは、歴史的建造物が建ち並ぶ街並みとかつて生活や物流の中心として利用された水路や運河に囲まれた水郷の街【柳川市】と、第1次産業とその6次化事業を推進する自然豊かな街並みの【みやま市】を活動拠点とする福岡県の南部に位置するクラブです。

創立当初から地域に密着した掘割り清掃や募金活動等の活発な奉仕活動を行う中、特に青少年への支援・育成には熱意をもって取り組んでおり、【柳川高校インターアクトクラブ】や【柳川2020ローターアクトクラブ】の誕生と活動支援に尽力しています。

また、【公益財団法人柳川ロータリークラブ近藤・竹下・沖奨学会】を運営し、地元の高校生から大学院生に無返還の奨学金を支給しています。これまでの奨学生総数は756名、運用資金は4億円超となり単独クラブの奨学会としては日本一と思われま



柳川IRC 2023-2024年度会長 梅崎 政信



事前の船頭研修を受け掘割り清掃活動を行うインターアクトクラブの生徒達



能登半島地震の募金活動



蛍の幼虫を伝習館高校の生徒達とともに放流

糸島RC

プロジェクト名

自然環境を学び、未来の自然環境を創造する

開催日: 2023年10月2日～3日

場所: 深江小学校・深江保育園・一貴山小学校

奉仕プロジェクト担当理事

馬場 孝志 (糸島 RC)

「未来ある子供たちと糸島の誇り高さ自然環境を守り育てる」取り組みを行いました。

なぜ「ごみ」を拾うのか。なぜ「稚魚放流」を行うのか。今の現状を知り、今できることは何なのか。子どもたちは、手や体をいっぱい使って学習しました。知識を増やして活動する。子どもたちが経験して親に伝える。

今回の事業は小学校の環境授業の一助となり、多くの人々に伝えることができました。

子どもたちが海洋ごみと漁網で作ったツリーは、福岡市中央公園にも展示（2023年12月25日まで）されました。



海のごみに聞き入る園児



海洋ごみを使ってツリーを作る児童



漁網でお魚体験する児童



【糸島新聞】2023年10月13日(金曜日)

【西日本新聞】2023年10月13日(金曜日)

宗像RC

プロジェクト名

豊かな海づくりプロジェクト

開催日：2023年10月14日～15日

場所：マリンワールド海の中道と周辺の海

国際・社会奉仕委員会

委員長 **葦津 幹之** (宗像RC)

近年、当クラブは国内で海藻が減少している「磯焼け」問題に注視しています。そのような中、本年「全国アマモサミット」が福岡で開催されることになり、ロータリークラブの環境意識向上啓発のために当クラブで支援することになりました。この大会は2008年に始まり15回目を迎えました。

多くのプログラムがある中、当クラブはフィールドワーク体験型イベントを担当し、マリンワールド海の中道会場を中心としては親子80名に参加して頂き「カッター教室、アマモ場づくり体験ツアー、マリンワ

ールド海の中道バックヤードツアー、海ゴミアート製作、イルカショー見学」などを行い海の知識を深めてもらいました。

また世界遺産「沖ノ島」にワカメとアカモクの種子を放散し発芽させる作業も行いました。沖ノ島の海藻減少は今までの考察から魚の食害ではないかと考えており、それを防ぐために漁網を設置し魚の侵入を防ぐ作業をしました。これにより春に海藻が復活すれば魚の食害が原因になります。この活動により「磯焼け」の研究発表が出せれば嬉しいと考えております。



八幡RC

プロジェクト名

八幡100人大清掃プロジェクト

開催日: 2023年10月29日 10:00 ~ 12:00

場所: 九州国際大学中心に4方面

国際・社会奉仕委員会

委員長 **瀧口 晴貴** (八幡 RC)

第2700地区第3G八幡ロータリークラブは、2023～2024年度豊かな自然プロジェクト補助金を活用して10月29日(日)に九州国際大学を中心に、144人が参加して清掃活動を行いました。参加団体は八幡ロータリークラブ、インターアクト、ロータリーアクト、グリーンバード、会員企業従業員及び家族です。

清掃後には九州国際大学KIUホールに集合をしてプロジェクトの趣旨説明を行い、参加団体の方から本日の清掃活動の感想を述べてもらいました。

RIが提唱する奉仕だけでなく清掃による公共道路

の環境保護・美的価値・安全確保に寄与して、身体を使い行動することにより健康向上・精神向上の効果がありました。

全体セレモニーでは峯浦ロータリーフェローズ委員長から参加者へプロジェクトの目的の1つであるエンドポリオについて説明をもらい、インターアクトとともにエンドポリオへの募金を呼びかけ39,374円エンドポリオ寄付を集めました。参加者、関係者に変喜ばれ、次年度も開催をしたいと考えています。



ローターアクトクラブ活動報告

地区ローターアクト委員会

副幹事 片山亮輔 (福岡南RAC)

平素よりお世話になっております。地区ローターアクト副幹事の片山亮輔と申します。
ローターアクトより活動報告をさせていただきます。

1・第三回 会長幹事会

4月7日、第三回目となる会長幹事会を開催しました。ローターアクトの諸規程に変更が大きくかかっているなかで、来期からの変更事項や会員増強に向けた各クラブ独自の取り組みなどを共有しました。ローターアクトクラブでも年々会員数の減少に苦しんでいるなか、法人会員の輩出やSNSからの呼び込みに成功している事例もあり、会員増強に向けて協力していければと思います。



第三回会長幹事会

2・ロータリー地区大会への参加

4月14日、ロータリー地区大会にアクトとして参加しました。

4月3日に発生した台湾東部沖地震の支援金を募る募金活動を実施しました。総額10万円のご支援を賜り、ご協力いただいた皆様におかれましては誠にありがとうございました。当地区では1990年代から台湾(3490地区)ローターアクトとの相互訪問を実施しており、アクトとしても台湾は心的距離が近い地域です。そうした背景もあり、アクトとしても従来に比べて積極的な動きがとれたと思います。今後は、この経験を糧によりフレキシブルに活動できるようにしていきたいです。



トークセッションの様子

なお相互訪問は今年も5月に予定しておりますので、改めてご報告させていただきます。

地区大会のプログラムでは、ローターアクト代表の中村香穂さんが広島大学ローターアクトとのトークセッションを実施し、大学基盤と社会人主体のローターアクトの違いや、今後の発展に向けた可能性を探りました。成り立ちや財政基盤などは異なりますが、協力しながらより充実したアクト活動につなげていければ幸いです。



募金活動の様子

3月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当期末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (4/4現在)	24年7月1日 目標会員数	
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減			
1	豊 前	4	82.34	30	2	0	2	28	2	1	3	-2	70.00	30	
	豊 前 西	4	68.45	8	1	0	0	9	1	1	0	1	44.44	13	
	刈 田	3	71.10	34	4	0	0	36	6	3	1	2	69.44	40	
	田 川	3	94.72	39	3	0	0	38	3	1	2	-1	97.37	41	
	行 橋	4	80.70	45	6	0	2	45	7	2	2	0	96.55	51	
	*衛星クラブ	2	74.40	14	8	0	0	13	7	1	2	-1	100.00	18	
	行橋みやこ	3	69.04	55	3	0	2	55	3	3	3	0	100.00	57	
計 (6RC)	23	78.62	225	27	0	6	224	29	12	13	-1	79.63	250		
2	小 倉	4	88.71	66	4	0	3	69	4	6	3	3	28.99	63	
	小 倉 中央	3	91.45	41	13	0	1	42	12	3	2	1	83.72	46	
	小 倉 東	3	85.58	93	6	0	0	97	7	6	2	4	56.70	100	
	小 倉 南	4	97.96	52	0	0	2	55	0	7	4	3	25.00	60	
	小 倉 西	3	80.35	44	1	0	0	46	1	4	2	2	17.39	49	
	門 司	3	87.09	31	2	0	1	33	2	4	2	2	5.88	36	
	門 司 西	3	74.70	36	0	0	0	38	0	2	0	2	35.14	43	
	戸 畑	4	83.75	18	2	0	2	15	2	0	3	-3	46.67	21	
	戸 畑 東	4	89.97	23	2	0	0	23	2	1	1	0	30.43	25	
	若 松	3	85.59	22	4	0	0	22	4	0	0	0	63.64	24	
	若 松 中央	3	76.02	23	1	0	1	20	1	1	4	-3	30.00	25	
計 (11RC)	37	86.20	449	35	0	10	460	35	34	23	11	38.51	492		
3	飯 塚	4	92.85	72	0	2	2	73	0	5	4	1	16.44	78	
	直 方	4	82.20	33	4	0	1	35	4	3	1	2	51.43	42	
	直 方 中央	3	86.34	32	6	0	0	32	5	1	1	0	100.00	34	
	遠 賀	3	81.29	44	4	0	1	45	4	3	1	2	46.67	49	
	八 幡	3	84.19	45	5	0	3	42	6	4	7	-3	27.27	55	
	八 幡 中央	3	96.26	50	3	1	1	50	5	5	5	0	52.00	55	
	八 幡 西	3	86.22	49	1	0	1	48	1	1	2	-1	36.73	52	
	八 幡 南	4	93.77	49	0	0	2	49	0	2	2	0	36.73	52	
	計 (8RC)	27	88.94	374	23	3	11	374	25	24	23	1	45.91	417	
4	太 宰 府	3	92.17	46	4	0	0	45	4	0	1	-1	100.00	50	
	福 岡	3	85.01	118	2	0	7	125	2	19	12	7	67.42	135	
	福 岡 平成	3	80.73	45	12	0	0	50	11	7	2	5	68.63	50	
	福 岡 東	3	81.12	74	15	0	0	77	15	3	0	3	72.83	82	
	*衛星クラブ	2	87.40	14	2	0	0	15	2	1	0	1	78.22	18	
	福 岡 城南	3	84.93	51	10	0	1	52	9	4	3	1	39.62	63	
	福 岡 南	3	78.00	87	0	0	3	87	0	3	3	0	78.22	96	
	*衛星クラブ	2	87.02	9	4	1	0	11	6	2	0	2	78.22	12	
	福 岡 東南	4	69.72	72	8	1	2	70	10	4	8	-4	61.29	79	
	*衛星クラブ	1	58.01	15	2	0	0	24	2	13	1	12	61.29	13	
	博多イブニング	4	76.24	51	11	1	1	52	10	5	4	1	92.45	52	
	宗 像	3	77.18	42	5	1	0	46	5	6	2	4	63.04	47	
	対 馬	3	78.24	21	4	0	1	21	4	2	1	1	6.06	23	
	*衛星クラブ	2	86.76	12	2	0	0	12	2	0	0	0	6.06	13	
計 (10RC)	39	80.46	657	81	4	15	687	82	69	37	32	64.96	733		
5	福 岡 中央	4	86.40	50	5	0	1	52	7	6	2	4	67.74	54	
	*衛星クラブ	2	88.33	9	1	0	0	10	1	1	0	1	67.74	11	
	福岡イブニング	4	72.36	31	5	1	0	35	7	5	1	4	60.00	35	
	福 岡 城西	3	93.42	111	0	0	2	116	0	8	3	5	27.59	130	
	福 岡 城東	4	87.91	27	3	0	0	26	2	2	2	0	15.38	29	
	福 岡 北	4	85.69	55	0	0	5	50	0	5	10	-5	36.36	67	
	福 岡 西	4	89.86	137	1	0	6	139	2	12	10	2	32.37	145	
	博 多	3	95.46	51	3	0	0	59	6	8	0	8	71.19	61	
	壱 岐	4	86.15	40	2	0	1	39	2	0	1	-1	64.10	43	
	壱 岐 中央	4	82.41	24	1	0	1	26	1	5	1	4	51.85	30	
	糸 島	5	79.10	55	1	0	0	54	1	2	3	-1	57.41	60	
計 (10RC)	41	87.50	590	22	1	16	606	29	54	33	21	48.40	665		
6	甘 木	3	89.90	59	2	0	1	57	2	0	2	-2	43.86	62	
	久 留 米	4	82.82	85	4	0	4	82	4	1	4	-3	31.71	90	
	久留米中央	3	100.00	39	3	0	1	38	3	0	2	-2	53.06	46	
	*衛星クラブ	2	99.46	0	0	0	0	11	2	1	1	0	53.06	0	
	久留米東	3	84.67	78	7	0	1	77	7	1	1	0	32.47	80	
	久留米北	3	85.41	75	7	0	2	75	7	2	3	-1	44.00	78	
	小 郡	4	91.53	48	1	0	1	47	1	1	1	0	32.79	52	
	*衛星クラブ	2	97.22	0	0	0	0	12	0	12	1	11	32.79	0	
	鳥 栖	3	85.62	51	3	0	2	52	5	1	2	-1	40.74	65	
浮 羽	3	79.50	37	1	0	1	37	1	0	1	-1	27.78	44		
計 (8RC)	0	86.91	472	28	0	13	488	32	19	18	1	38.30	517		
7	筑 後	3	99.83	21	0	0	1	24	0	4	1	3	37.50	24	
	大 川	4	82.34	39	1	0	0	41	1	3	1	2	92.68	45	
	大 牟 田	4	88.86	65	5	0	2	63	5	0	2	-2	47.62	66	
	大 牟 田 北	4	83.05	50	2	0	0	53	2	4	1	3	77.36	53	
	大 牟 田 南	3	85.49	24	0	0	0	25	0	2	1	1	28.00	29	
	八 女	4	81.03	23	3	0	2	23	4	2	2	0	8.70	26	
	柳 川	3	83.47	47	4	0	0	45	4	0	2	-2	69.57	48	
計 (7RC)	25	85.66	269	15	0	5	274	16	15	10	5	51.63	291		
総 計	クラブ数	当 月											2023年6月末日からの累計	My Rotary登録率 (4/4現在)	24年7月1日 目標会員数
	60	累計出席率	期首会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減	70	52.47	3,365	

*衛星クラブ:行橋COSMOS/福岡東令和あけぼの/福岡南ファミリア/福岡中央エンジョイ/福岡東南けやき/対馬ちんぐ/久留米中央みらい/小郡セブ

寄付認証者紹介 (3月分)

ポール・ハリス・フェロー

桧楨 敬 君 刈田RC Multiple	井楯 浩雄 君 福岡北RC Multiple
桶田 俊光 君 福岡イブニングRC Multiple	川久保邦彦 君 福岡北RC
石村かよ子 君 福岡東RC Multiple	大熊 猛 君 小郡RC Multiple
入江良太郎 君 福岡東RC Multiple	香月 学 君 小郡RC Multiple
内野 友昭 君 福岡東RC Multiple	楠 良司 君 小郡RC
大神 朋子 君 福岡東RC Multiple	小玉 伸洋 君 小郡RC Multiple
金谷 久司 君 福岡東RC Multiple	田籠 弘幸 君 小郡RC Multiple
清原由鶴乎 君 福岡東RC Multiple	寺尾 信夫 君 小郡RC Multiple
桃原 健二 君 福岡東RC Multiple	野田 弘喜 君 小郡RC Multiple
薙野 修二 君 福岡東RC Multiple	野田 義弘 君 小郡RC Multiple
廣田 育美 君 福岡東RC Multiple	土方 艶子 君 小郡RC Multiple
藤川 秀幸 君 福岡東RC Multiple	笛田 政和 君 小郡RC Multiple
松田 修 君 福岡東RC Multiple	吉武 靖博 君 小郡RC Multiple
松本 好重 君 福岡東RC Multiple	川添 廣志 君 太宰府RC Multiple
宮本 由希 君 福岡東RC Multiple	塩月 啓司 君 太宰府RC Multiple
村上 晃二 君 福岡東RC Multiple	前田 健吾 君 太宰府RC Multiple
森 純子 君 福岡東RC Multiple	藤永 勝巳 君 直方RC
吉田 知弘 君 福岡東RC Multiple	
坂本 満成 君 福岡城東RC Multiple	米山功労者
佐藤 良治 君 福岡城東RC Multiple	野口 恵子 君 宗像RC 3
武藤理恵子 君 福岡城東RC Multiple	東 良幸 君 八幡中央RC 1
三戸宗一郎 君 福岡RC	三牧 十九生 君 八幡中央RC 1

5月地区内行事予定表

7日(火)	地区財務委員会
9日(木)	会員増強委員会
10日(金)	第10回 地区ラーニング委員会
11日(土)	DXを活用したクラブ効率化セミナー
14日(火)	クラブ運営支援委員会
16日(木)	ロータリー財団委員会 インターアクト新旧合同委員会
18日(土)	地区研修・協議会 ロータリーアクト地区大会
25日(土)	第40回 RYLAセミナー(～26日)

第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/桑野智彰・宮本由希・井上誉之・梅原健・花田公一・川畑輝雅・橋本道成
連絡先/株 梓書院 ガバナー月信編集局
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3-2-1
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095
E-mail:mail@azusashoin.com

物故会員 (3月分)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 清原 雅彦 会員
(小倉東RC)

逝去月日:2024年3月23日
ロータリー歴:48年2ヶ月
享年:86歳



故 稲葉 武彦 会員
(甘木RC)

逝去月日:2024年4月13日
ロータリー歴:18年
享年:59歳

3月新会員ご紹介 (7RC8名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
3	飯塚	武本 訓
		深田 陵市
	八幡中央	岡本 一
4	福岡南	原田 麻由*
	福岡東南	白川 健二
	博多イブニング	祐田 真由美
	宗像	岩崎 員久
5	福岡イブニング	横井 宏佳

お知らせ

●FAX番号変更のお知らせ

遠賀ロータリークラブ事務局
変更前:093-283-4351
変更後:093-701-5574

表紙写真についてお願いです

表紙写真:元RI理事・末永直行氏の写真は、福岡音楽学院様よりご提供いただいております。写真の転載は固く禁じさせていただきます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F
TEL.(092)481-2650 FAX.(092)481-2651

事務所長 E-mail: gocheef@2700rid.com
事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com
(執務時間) 平日/9:30～17:00 土曜日・日曜日・祝日/休務